

第5回 南のステーション検討会 開催結果

1 開催日時

平成29年5月13日（土曜日）午前10時から正午まで

2 開催場所

長久手市まちづくりセンター 集会室1

3 出席者

18名

4 前回のふりかえり

中村会長より、前回までの経緯を説明。今までの座談会・検討会では主に事業内容について話し合いをして、4つのコンセプトを定めた。今回は専門家を交えて、5か所の候補地について、法的な条件整理を行い候補地を絞っていく。

5 内容

たつせがある課より、今後のスケジュールを及び法的な条件整理を説明。

順調にいけば、5月と7月の検討会で候補地を決め、その後は事業内容を検討していく。来年度以降は、基本設計⇒実施設計⇒工事⇒開設となる。

市の基本的な方針として、既存の空き店舗や施設を活用していきたい。工事費については、建設費のみであり設計費などは含まれていない。開設予定時期は、今後進捗状況によって遅れる可能性がある。既存施設の改修の場合は、現在の利用者などと調整が必要となる。候補地1，4，5については、改修する規模が手狭（約100㎡）となる。

[ワークショップ]

3つのグループに分かれ、5か所の候補地のどれが良いか話し合い、全体で共有した。

・青グループ

南小学校区の中心となる場所に共生ステーションがあった方がよい。第2駐車場であれば、校区の中心に近く、みんなが行きやすい。

共生ステーションを複数にする場合は、本部（体育館）＋支所（集会所）など利用目的に合わせて場所を変えることができる。

そもそも共生ステーションはみんなが集まれる場所なので、1か所でないと集まらないのでは。

集会所をみんなが利用しやすくするために、利用規約を変えていけばよい。

・赤グループ

他の地区はたまたま候補地があり、建設工事がスムーズに進んだが、南小学校区は候補地が決まっておらず、遅れている。

共生ステーションにはある程度スペースが必要。

どのような目的で使われるか、まず既存の建物を活用して、使われ方を確認してから。

目的：活用方法にあった施設の考えをする必要あり。

使われ方によって、南北に分かれることを検討。

候補地 1, 4, 5 はスペースが狭く、第 2 の共生ステーションとして使用することが適当。

[結論]

杵ヶ池体育館の第 2 駐車場、まちづくりセンターの南側敷地

・黄グループ

[結論]

共生ステーションのコンセプトをもとに、個人で選んだところ、杵ヶ池体育館の第 2 駐車場、まちづくりセンターの南側敷地の 2 か所が多かった。いずれにしても、南北に分かれて共生ステーションを建設する場合は、候補地 4, 5 なども第 2 の共生ステーションとして活用できる。

【今後の日程】

次回の南のステーション検討会は 7 月 8 日 (土) 午前 10 時から 長久手市まちづくりセンターで開催し、候補地を決定する。